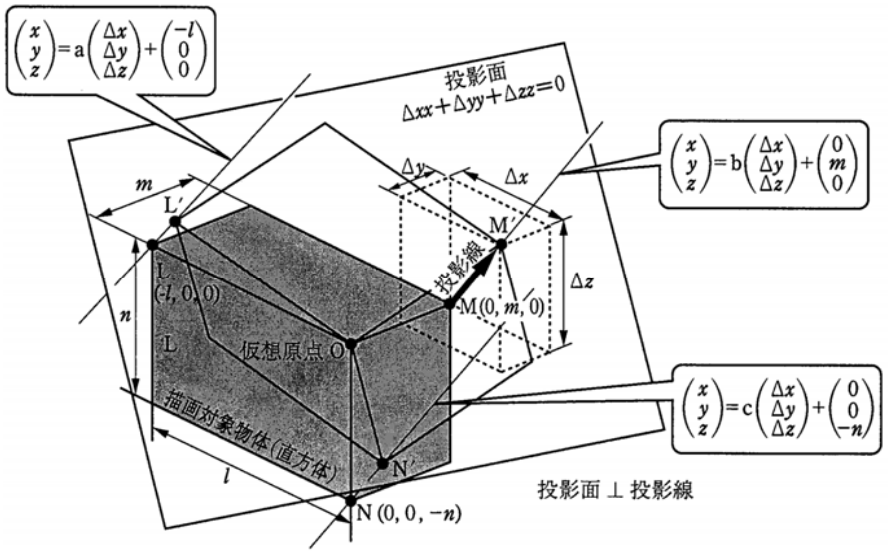
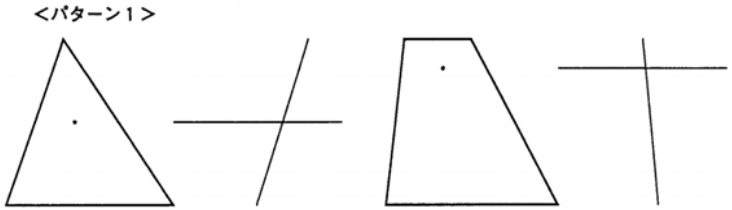
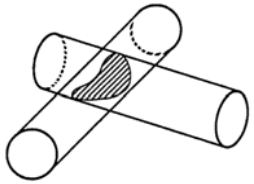
『機械デザイン』正誤表

ページ	箇所	誤	正
24	「体験」の図 左側の上から 二つ目の図の 注釈	斜線の太さの倍程度の…	斜線の太さの5倍程度の…
25	図4.5の 図中文字	不微小不整	微小不整
35	表6.1	（省略）	（「斜軸測投影法」と「直軸測投影法」の位置を入れ替える）
41	図7.1	（省略）	（別掲 1）
42～43		m	Δy（∵　図7.1の差し替えに伴い）
49	2	…線D（efを結ぶ直線）の…	…線D（ehを結ぶ直線）の…
52	4	…する。この消視点の数…	…する。この消点の数…
	10～11	…は見た目に無限遠方の地平線（horizontal line，以下図中ではH.L.と略記）で集中するが，透視投影図においては…	…は見た目に無限遠方で集中し，それが地平面上の線であれば地平線（horizon-tal line，以下図中ではH.L.と略記）で集中する。透視投影図においては，…
	14～15	…の平行線はそれぞれ異なる消点で集中…	…の平行線はそれぞれ地平線上の異なる消点で集中…
53	5	…直方体と視点から，…	…直方体と視点および地平線から，…
54	4	…に対して，投影線を描く。	…に対して，平行線を示す集中線を描く。
	5～6	…に対して，投影線以外の平行線を示す集中線を描く。	…に対して，平行線を示す集中線を描く。
58	4	…である。寸法は左図を参照…	…である。寸法は右図を参照…
66	5	…および図10.4と，パターン2は図10.5と，…	…および図10.4の，パターン2は図10.5の，…
	〈パターン1〉の図	（省略）	（別掲 2）
77	図13.5	（省略）	（別掲 3）
79	2行目	…に示す三角錐と…	…に示す三角柱と…

（別掲 1）（図7.1）



（別掲 2）（〈パターン1〉の図）（点を追加）



（別掲 3）（図13.5）（ハッチングの位置をずらした）